

2024年4月9日

## 4/26（金）滞在型宿泊施設「MUJI BASE TESHIMA」オープンのお知らせ

アートの島で知られる瀬戸内海豊島の古民家を再生



無印良品を展開する株式会社良品計画（東京都文京区／代表取締役社長 堂前 宣夫）は、瀬戸内海の東部に位置する香川県小豆郡土庄町豊島に滞在型宿泊施設「MUJI BASE TESHIMA」を4月26日にオープンします。

MUJI BASE は、地域に根差した無印良品のある暮らしが体現できる、古民家をリノベーションした中長期滞在型施設で、昨年8月にオープンした「MUJI BASE KAMOGAWA」に続く第2弾となります。

当社は、「感じ良い暮らしと社会」の実現を目指し、地域の皆様と課題や価値観を共有し、地域を活性化するためのさまざまな活動を進めています。「MUJI BASE」はそれらの活動の一つとして、遊休不動産を活用し、地域に根差したくらしの拠点を作り、「暮らしの楽しさと地域の共存」を実現する施設です。ワーケーション等、ライフスタイルが場所にとらわれないものに変化している中、暮らしの拠点を広げ、都市から離れた場所で穏やかな日常を体験し、地域の魅力を再発見するための場所となることを目指しています。

MUJI BASE TESHIMA は 2010 年の瀬戸内国際芸術祭の作品兼レストランの運営スタッフの寮としてリノベーションされた、現在築 90 余年になる古民家を受け継いだものです。今回 MUJI BASE TESHIMA として再活用するにあたり、当社で内装の企画・デザインを行い、無印良品の 世界観を体現した施設としました。

リビングとダイニングの間にあった水回りを撤去することで部屋間を簡単に行き来できるようにしています。またリビングの一部の壁を撤去してルーバーを設置することで、圧迫感のない開放的な寝室空間を作りました。フローリングも無垢フローリングに張り替えています。アートの島として知られる豊島の宿泊施設にふさわしく、日本の美意識や見立てをテーマにしつらえた空間は、良品計画が展開するインテリアブランド「IDÉE」がコーディネートを担当。日本のヴィンテージ家具、モダンデザインのインテリア、日本のアーティストによる作品の他、滞在中にお使いいただく器も、豊島周辺の瀬戸内を中心に活動を行う現代作家の器をセレクトしています。その他、レコードのセレクションや MUJI BOOKS による選書本、無印良品の家具や家電もご用意しています。



宿泊予約は、本日 4 月 9 日（火）より Airbnb にて開始いたします。

※公式ウェブサイト URL : <https://www.muji.com/jp/ja/special-feature/mujibase/teshima/>

※Airbnb MUJI BASE TESHIMA URL : <https://airbnb.jp/h/mujibase-teshima>

## ■ MUJI BASE TESHIMA 概要

- 住所 : 香川県小豆郡土庄町豊島家浦 2358 番地  
収容人数 : 最大 4 名 ※3 名以上の場合、3 人目から 1 人 1 泊につき 5,000 円追加  
料金 : 1 泊 1 棟 2 名 49,000 円～。別途清掃費 15,000 円。 ※2 泊以上のご予約のみ  
延べ床面積 : 83.36 m<sup>2</sup> / 25 坪  
喫煙 / 禁煙 : 禁煙  
チェックイン : 15:00～17:00  
チェックアウト : 10:00

## <MUJI BASE について>

MUJI BASE は、無印良品が提案する地域に根差したくらしの拠点です。「地域文化の体感基地」をコンセプトに、自然と共生しながら、地域の文化や食材を活かした生活を体験することで、訪れる人々に新たなライフスタイルを提案しています。また都市から離れた場所での穏やかな日常を体験し、地域の魅力を再発見するための場所となることを目指しています。

## <Airbnb（エアビーアンドビー）について>

世界最大級の旅行コミュニティプラットフォーム。2022 年 9 月、全国の遊休不動産の共同プロデュースを行い、日本の宿泊施設の多様化と地域のにぎわいづくりに寄与することを目的に、当社と Airbnb の日本法人は包括連携協定を締結しています。

※「Airbnb」「エアビーアンドビー」「エアビー」の各名称およびロゴは Airbnb Inc.の登録商標です。

## <豊島について>

豊島は、瀬戸内海の東部、小豆島の西方 3.7km に位置する島です。面積 14.5km<sup>2</sup>、人口約 760 人、島の中央にそびえる壇山からは湧水が出ており、古代から現在に至るまで豊島の稲作、農業、そして人々の生活を支えています。近代に入ってから酪農が栄えたこともあり「ミルクの島」と呼ばれ、戦後間もなく先進的な福祉施設ができたことから「福祉の島」としても知られています。1970 年代から始まった産業廃棄物の不法投棄は、全国的にも最大規模の産廃問題となりましたが、不法投棄された廃棄物の処理もすみ、環境の再生を目指した取り組みが続いています。2010 年には豊島美術館をはじめとする現代アートの施設もでき、国内外から多くの方が訪れています。